

「新しい生活様式」を踏まえ災害時の避難や備えを考えましょう

在宅

分散

垂直



避難先について考えましょう

避難所に行く以外にも、避難の方法があります。

日ごろから避難について知り、いざという時に備えましょう。

※例えば、市内全域に避難情報が発令されても市民全員が避難所に行くということではありません。

在宅避難

川の近く、低地、斜面といった危険な場所にはないマンションなど頑丈な建物に住んでいる人や、浸水などの恐れがない**安全な場所にいる人は避難所に行く必要はありません**。ただし、停電、断水などのおそれがあるため、水、食料、懐中電灯、電池式ラジオ、携帯電話の充電、カセットコンロなどを備えておきましょう。また、大雨の際は河川の増水を防ぐため、風呂水の排水や洗濯は控えてください。

分散避難

浸水想定区域や土砂災害（特別）警戒区域にお住まいの人は、台風や大雨により被害が予想されるような予報の際には、あらかじめ安全な親戚・知人宅へ早めに避難してください。

垂直避難

深夜の豪雨などで避難が困難な場合には、少しでも命が助かる可能性を高くするため、建物のより安全な場所へ移動してください。例えば、自宅が2階建ての建物なら2階の山側と反対側の部屋へ移動したり、マンションなら上層階へ移動したりするなど身を守る行動が重要です。

やむをえず車中泊をする場合

豪雨時の屋外の移動は、車も含め危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。また、長時間同じ姿勢でいると体調を崩す恐れもあります。水分補給のほか、感染症予防のため換気を心がけてください。

避難所へ避難する場合

在宅避難や分散避難ができず、避難所に避難する場合は、豪雨や暴風となるまでに避難を完了しましょう。風水害が予想される際に開設する自主避難場所は**下の7箇所**です。自主避難場所を開設するときは、安心メールや市ホームページでお知らせします。



自主避難場所
7 箇所

光明小学校、宝塚第一小学校、宝塚小学校、安倉小学校、長尾南小学校、中山五月台中学校、西谷小学校